

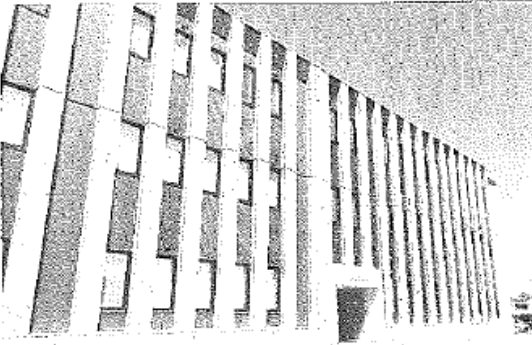
当会会員の電制コムテック(株)様が
2024年6月19日付の日刊工業新聞に紹介されました。

電制コムテック、英に投入

電気式人工咽頭 欧販売の足がかり

【札幌】電制コムテック(北海道江別市、田上寛社長)は2026年秋にも英国で電気式人工咽頭「ユアトーン」の輸出販売を始める。これに先立ち、社内に田上社長をトップに開発、技術、営業など7人で構成するチーム「ヘルスケアプロジェクト(HCP)」を発足した。英国を足がかりに欧州連合(EU)内の他国への販売網拡大も目指す。現在の海外向け販売はほぼゼロだが、将来は海外事業の売上高に占める比率を約25%に伸ばす計画だ。

電制コムテックの英一決めるが、同国内に拠
国での事業は「ユアトーン」点はずかず、当面は代
「ユアトーン」を中心に据える。理店ルートで営業を進
今後、具体的な計画を「ユアトーン」の引き合
める。同国での販売に「ユアトーン」の引き合
いが英国から多かつた



電制コムテックの本社

ため進出を決めた。英
国はEUを離脱してい
るため、各種の規制や
基準がEU諸国と異な
る。英国の規制をクリ
ア後、EU諸国の規制
などをクリアする作業
に入る方針だ。

ユアトーンはがん
などで喉頭を摘出し、声
を出せない人向けの製
品。肺から出た息が声
帯を震わせて振動音を
作り出す動きを利用
し、口と舌を動かすこ
とで「話し声」に変わ
る仕組みを作った。ユ
アトーンをのど元に当
てて言葉を発するよう
に口と舌を動かすと、
電子音で言葉を発する
ことができる。

当会では日刊工業新聞と連携し、会員企業の取り組みを発信しています。